

<グループホーム>

○問 2 1 次の項目のうち、あなたが「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」を利用する上で(または事業所を選ぶ上で) 大切だと思うことは何ですか。最大5つ選択いただき、下記口枠の中にご記入願います。

- ・安心して家族をお世話していただける事が重要です。家族と施設が協力し合える事で信頼も生まれる「利用者の幸せが一番」と優先して物事を考えて下されば、家族を託している者としては何よりも嬉しく思います。
- ・全く介護政策に関する知識が無い状態で家族をグループホームに預ける事になり、すべてにおいて親身に説明、対応していただけた事が施設に対して信頼感を持てるようになりました。
- ・話す事と適度な運動がほしいと思う。
- ・医療機関との連携があることで、年齢を経ても安心して利用させていただけると感じています。
- ・残り少ない人生を、笑顔で過ごせる、最期の時まで。その為に、職員さん達の対応、食事、入浴、排泄等のサービスが、家族では支えられなかったレベルのものを提供して頂ける、その様子が家族にも知らされ、安心できるそれが私には一番です。
- ・職員の移動が少ない。経営がしっかりしている。経営者以下、認知症の事をよく理解している。他と交流し、外へ遊びにもよく連れてってくれる。本人に変化が有ればすぐ連絡くれる。本人の事をよく理解し、無理なことをさせない。
- ・家庭的な生活空間である。スタッフさん達も永年同メンバーであり、認知症の母も専門的ケアを受けているおかげで穏やかな生活が出来ていると思っています。自立支援を掲げているおかげで母も元気で生活しています。
- ・当たり前の事ですが、グループホームの入所者は全員色々な型の認知症なので、お世話して下さる職員の方々が専門的なケアを勉強されている事を望んでいます。
- ・職員の方個々人の対応の差があり、中にはあまり安心感がないと感じる方もいます。
- ・本人が快適に過ごせる空間である事、認知症状を理解した上での心配りや対応を重視しています。私は割合によく会いに行くので、家族を疎外しない体制の所が有難いです。

- ・ 認知症であったとしても、その人らしく生活をおくれる様に支援していただきたいです。
- ・ 認知症を病気として捉え、人間として扱ってほしい。
- ・ 自ら（事業所）が改善すべき自覚が最も大切である。
- ・ 利用者と家族が会う回数をできるだけ多くするのは、近いことが大切だと思います。そうすれば職員の方とも密に情報交換ができると思います。
- ・ 利用者主体のケアがされていると日々感じ、職員の方々の日々の接し方に頭が下がります。母をこの施設に入れて戴いて心より感謝しています。
- ・ 母は入所時に納得して入所したのではなく、最初の頃は電話が鳴る度にドキドキしたのですが、最近はグループホームへ訪ねて行っても、落ち着いてニコニコと迎えてくれます。ホームの皆様のおかげだと思っています。
- ・ 利用者の自尊心が傷つかないように人間的な温かい対応をして頂けることが最も大切なことで、家族にとっても安心して利用できると思います。
- ・ 本人が笑顔で過ごす事が一番だと思っています。認知症の人への施設の方の対応は、やはり専門家らしくして下さる事が家族とは違うと思うので、頼りにしています。
- ・ 認知症になると本人も日々不安になったり混乱するので介護するスタッフさんと家族が連携して、ケアしていく事がとても大切だと思います。家族としては、時間の許す限り面会に行って、本人の希望や困っている事を聞くようにする事を大切にしています。
- ・ 人生最後の時間を自宅で家族に囲まれて過ごせれば一番良いと思うが、実際はとても困難。それに家で本人が満足できるようなケアが出来るとはとても思えない。その点、グループホームなら安定した穏やかな雰囲気の中で、困った事があれば必ず近くに職員がいてくれて上手に言葉掛けをしてもらえる。生活が安定して、本人が穏やかに過ごせていれば、家族は関りやすいと思う。会いに行っても楽しい時間が過ごせれば嬉しいし、行くのが（会うのが）苦でなくなる。本人も家族もグループホームがあることでいい時間を共有出来ると思う。
- ・ 母が笑顔で生活してくれることが一番の願いです。認知症であっても嫌なこと、ものは嫌とハッキリ意思表示はできます。今の施設は仲良しの友達もでき、安心して見守っています。